

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	スクールカウンセラー派遣事業		
事業担当	学校教育部 子ども教育相談センター		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、保護者、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
不登校をはじめ、児童・生徒の様々な問題行動などが改善もしくは解消します。		児童・生徒の様々な問題を解決するため、本人や保護者のカウンセリングを行うとともに、教職員を援助するスクールカウンセラーを各小中学校に派遣します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	スクールカウンセラー派遣人数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	13	13	13		
活動指標②	指標名	スクールカウンセラー配置学校数			単位	校
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	43	43	43		
成果指標①	指標名	スクールカウンセラーに係る学校評価			単位	点
	説明・算定式	「派遣により、支援を必要とする児童生徒への対応に効果があった」とする評価(5段階)の派遣している小中学校の回答の平均値				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	4.1	4.4	4.5		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
市スクールカウンセラー13人を、小学校28校全校に、中学校15校中10校に配置し、県のスクールカウンセラーと合わせて小・中学校全校に配置することで、児童・生徒、保護者及び教職員に対する支援を行いました。						
平成24年度の検証結果	A: 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	不登校など様々な課題に対し、学校におけるスクールカウンセラーの必要性が強く求められています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	校内でのカウンセリング、研修会、ケース会議での助言等を行い、支援体制の一端を担っています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	専門的な知識や経験を生かし、学校内での問題解決に取り組んでいます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	各学校に配置されることで、保護者、教職員への相談の機会が増え、相談体制が充実しています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 市スクールカウンセラー13人を小学校28校全校に、中学校15校中10校に週1回の配置ができましたが、残り5校の配置ができると、県のスクールカウンセラーと合わせて、全中学校に週2回の配置ができます。2人の増員とその後は、勤務日数等の面で学校現場のニーズに応えるために、勤務日を増やすことが必要となります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		スクールカウンセラーの派遣	スクールカウンセラーの派遣	スクールカウンセラーの派遣	スクールカウンセラーの派遣
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	29,898	29,523	29,992	30,311
事業費 (A)		29,898	29,523	29,992	30,311
執行率 (%)		97.15	97.63	99.58	
内訳	職員 (人)	0.95	0.90	0.90	0.70
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,847	7,294	7,214	5,564
フルコスト (A+B)		37,745	36,817	37,206	35,875

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 勤務日数等の面で勤務体制の充実が必要であるため、人員の増員を図っていきます。
<b>課長コメント</b> スクールカウンセラーは、学校生活を送る上で、様々な課題を抱える児童・生徒やその保護者を臨床心理の視座から支え、高い評価を得ています。その存在は、市内の小・中学校に着実に根付き、なくてはならないものになりつつあります。また、児童・生徒や学校現場からは常駐してほしいとの声も聞かれています。こうしたニーズに応えるため人員の増員を図りたいと考えます。